

TOMIZO KITAMURA

生涯一画家

北村富三展



「少女像」

平成29年

7月22日(土)～10月9日(月/祝)

■開館時間／午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) ■会期中の休館日／毎週月曜日(9/18、10/9は開館)、9/19(火)

■入館料／大人300円(250円)小中学生150円(100円)※()内は20名以上の団体料金

東近江市 近江商人博物館・中路融人記念館

生涯一画家 北村富三展

T O M I Z O K I T A M U R A

洋画家北村富三は、明治36年(1903)、現在の滋賀県東近江市宮荘町に生まれました。病弱で闘病生活を送っていましたが、23歳の時、京都に出て寺松国太郎の門下生となり、油彩画を基本から学びます。その後、東京に出て、二科展で活躍していた安井曾太郎に師事し、堅実な写実的作風で認められました。

戦禍が厳しくなった昭和20年(1945)、東京から滋賀県に一家疎開。画家にとって厳しい時代でしたが、昭和31年(1956)に53歳で生涯を閉じるまで、常に画家として模索と研鑽を重ね、画の求道者として多くの作品を残しました。

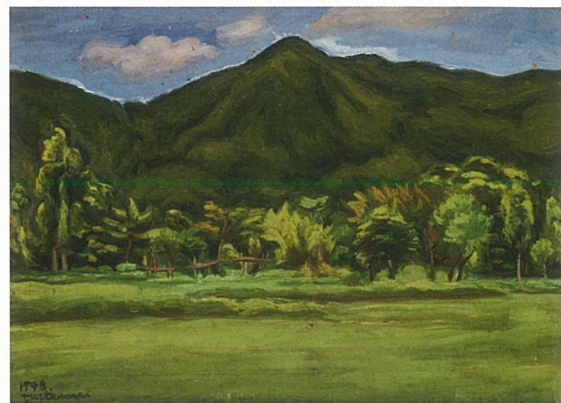
本展は、昨年ご遺族からご寄贈いただいた油彩画5点、水彩画23点、デッサン6点の計34点の作品を中心に展示するとともに、生まれつき病弱な身体を持ちながら、自らの命を移行するかのように描き続けた富三の作品とその生涯にせまります。



「長女の像」



「百日草」



「観音寺山」



「蟋蟀」



「たまねぎと筆洗」



「壺と瓶」



「蝶・蝗」



「蝉・蜻蛉」

関連イベント

ワークショップ「鳥 水辺の生物を描こう!」

平成29年 8月5日(土) 13時30分～15時30分

●講師/洋画家 猪ノ田 裕樹氏 ●場所/多目的研修室

●定員/15名(事前申込要) ●参加費/300円

ギャラリートーク《当館学芸員による展示解説》

平成29年 9月9日(土) 13時30分～

●場所/近江商人博物館 展示室 ●入館料要 ※関連イベントについての詳細はお問合せください。

同時開催

中路融人記念館

「開館1周年記念-所蔵作品展-」開催中～8月20日(日)

「みずのかたち-融人が出逢った水遺産-」9月2日(土)～12月10日(日)



東近江市 近江商人博物館・中路融人記念館

〒529-1421 滋賀県東近江市五箇荘竜田町583番地(てんびんの里文化学習センター内)

TEL 0748-48-7101 IP 050-5802-3134 URL <https://e-omi-muse.com/omishounin-boy.html>

■開館時間/午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休館日/月曜日(祝日は開館)・祝日の翌日・年末年始 臨時休館あり

■入館料/大人300円(250円)小中学生150円(100円) ※ ()内は20名以上の団体料金

■交通機関/JRびわ湖線

・近江鉄道

・名神高速道路

能登川駅から近江鉄道バス「八日市駅行」で「金堂」

または「ぶらざ三方よし前」下車徒歩約15分

五箇荘駅から徒歩約25分

八日市ICから車で約20分、蒲生SICから車で約25分、

湖東三山SICから車で約25分、竜王ICから車で約30分、

彦根ICから車で約40分



近江商人博物館
キャラクター
てんちゃん